【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公表番号】特表2007-522954(P2007-522954A)
【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2007-031
【出願番号】特願2007-500240(P2007-500240)
【国際特許分類】
Ｂ２５Ｄ　9/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２５Ｄ　9/06

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月14日(2007.12.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ツールをその長軸方向に移動可能に内部に配設することができるフレームと、打撃装置に圧力液体を供給し、圧力液体タンクに圧力液体を戻す手段と、該圧力液体の圧力を利用することにより前記ツール内に応力パルスを発生させる手段とを含み、圧力液体で満たされた作動圧力チャンバと、該作動圧力チャンバと前記ツールとの間にあって、前記フレームの長軸方向に移動可能に配設されて少なくとも応力パルス発生中は前記ツールに直接的または間接的に接触する伝達ピストンと、該伝達ピストンの該ツールに面する側にある供給圧力チャンバとを含み、該伝達ピストンは、前記作動圧力チャンバに面する圧力面と、前記供給圧力チャンバの側にあって前記ツールに面する圧力面とを備える圧力流体作動打撃装置において、前記応力パルスを発生させる手段は、前記作動圧力チャンバに接続されて該作動圧力チャンバ内の圧力を維持する圧力液体源と、断続的に圧力液体を前記供給圧力チャンバに供給する手段とを含み、該圧力液体の圧力によって前記伝達ピストンは前記作動圧力チャンバの方へ、該作動圧力チャンバ内の前記圧力液体の圧力に抗って、かつ前記伝達ピストンの所定の後退位置へ押されて、前記液体が前記作動圧力チャンバから排出され、前記供給する手段は、圧力液体を前記供給圧力チャンバから急速に交互に排出させて、前記作動圧力チャンバ内で加圧された圧力液体の圧力により生まれ前記圧力液体源からこれに流れる力によって前記伝達ピストンを前記ツールの方向に押して、該ツールをその長軸方向に押して、該ツール内に応力パルスを発生させることを特徴とする圧力流体作動打撃装置。
【請求項２】
請求項１に記載の打撃装置において、前記加圧された圧力液体を前記作動圧力チャンバに供給する手段は、該圧力液体を供給して、前記作動圧力チャンバ内の圧力を、該打撃装置の作動中、実質的に一定に維持するように配設されていることを特徴とする圧力流体作動打撃装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載の打撃装置において、等しい圧力の圧力液体が前記作動圧力チャンバおよび前記供給圧力チャンバに供給され、該作動圧力チャンバおよび該供給圧力チャンバに面する前記伝達ピストンの前記圧力面はそれぞれ、発生した力の和によって該伝達ピストンがその後退位置へ押されるよう作られていることを特徴とする圧力流体作動打

撃装置。
【請求項４】
請求項１から３までのいずれかに記載の打撃装置において、前記作動圧力チャンバは圧力液体ポンプなどの圧力源に接続されて、該圧力液体源が継続的に圧力液体をこれに供給しようとすることを特徴とする圧力流体作動打撃装置。
【請求項５】
請求項１から４までのいずれかに記載の打撃装置において、該打撃装置は前記作動圧力供給チャンバに接続された蓄圧装置を含むことを特徴とする圧力流体作動打撃装置。